めぐみの森だより　2024 年 2 月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎　03-3480-4448

　梅の花言葉の一つに「忍耐」というものがあります。

　春に咲く花として有名な“桜”。桜は本当に華があり、散る時もひらひらと舞う花びらが素敵ですよね。そんな桜よりも私は梅が好きです。この寒い時期にパッと咲き出し、寒くても凛とした表情で咲き続ける梅は花言葉のように寒くても耐え忍ぶ様をみせてくれているように思います。

　金曜日、5 歳児のAさんが私のところにやってきて「ゆざわせんせい、あしたはゆざわせんせいですか？」と聞かれ『おっ！なぞなぞか？明日も自分はゆざわせんせい…変わらない自分が愛おし…』なんてくだらないことを考えていると、担任からフォローが入り、土曜日保育に私がいるかどうかを聞きたかったようで、「いるいる！」とＡさんに答えるとＡさんはちょっと笑みを浮かべていました。後で担任に聞くとAさんは初めての土曜日保育に来るようで、ちょっと緊張しているようでした。土曜日で担任の先生は休み、誰が自分と過ごしてくれるのか不安もあったのかもしれません。（自分がいることで不安を拭えたのかは疑問ですが！？）

　土曜日当日、私が出勤するとAさんは園庭で同じクラスの友だちとボールで満面の笑みで遊んでいました。食事の時間には率先して、小さな友だちに食事を配ってくれていました。そしてお迎えの時間、お迎えに来てくれたお母さんに声をかけると「楽しかったみたいで、また土曜日保育したいって言っていました。」と教えてくれました。

　初めてのことは大人の私でも緊張します。（こう見えて人見知りなので…）子どもたちも緊張や不安の中にいることは当然です。それでもAさんは自分でその緊張や不安を克服するためにわたしに土曜日いるのかどうかを聞いたり、恐らくお家でも保護者の方の話を聞いて、お迎えの時間を確認したりしてくれていたことでしょう。

　あと２ヶ月でこの園を卒園するゆりぐみの子どもたち。わからないことがあったら、聞く。嫌なことがあったら、言う。大人の私たちが思っている願いは子どもたちにとってはとっても難しく、そして不安が伴います。そんなことをできることが本当に素晴らしく、できないことが当たり前。まだまだ保護者の皆さんの助けや地域の方たちの見守りが必要です。でもその緊張と不安の先に今回のＡさんのような「楽しかった」と思える経験もぜひ、してほしいとも思います。

　梅の花言葉「忍耐」。Ａさんを始め、ゆりぐみの子どもたちは今この 6 年間で培った愛と経験を溜め込んでいるはずです。そんな子どもたちが緊張と不安の中で始まる 4 月の小学校生活のスタートで梅の花のようにパッと花を咲かせてくれることを願ってまた信じています。

記：主任　湯澤伸樹

おすすめの辛いもの

ファミリーマート発「麻辣花生　～マーラーピーナッツ～　」

　この辛さ、初めて食した時「ファミリーマートは売る気があるのか！」と思うくらいの辛さと痺れでした。コレを食べながら温かいもの、炭酸を飲もうものなら“火に油”。しばらく痺れがとれません。しかし、食べ終わった後しばらく日が経つと、また食べたくなっている自分がいるんです。今では手土産に持って行ったり、めぐみの先生にもおすすめしたりしています。

　もし店頭になければ、それは湯澤が買い占めたのだと思ってもらって構いません。ぜひ一度ご賞味あれ。